



azman rahman/gettyimages

CONTENTS

特集1

20 地域エネ衰退の危機 合従連衡で再生なるか

OUTLINE

22 エネルギー3事業のアライアンス事情 地域課題克服し供給体制の再構築なるか

DISCUSSION

28 事業承継に三者三様の課題 地域インフラの将来像を考える

橘川武郎 国際大学学長／角田憲司 エネルギー事業コンサルタント

中原駿男 スピカコンサルティング代表取締役

REPORT

32 LP事業譲渡は卸会社優先で検討を 規制緩和と一体のSS過疎地対策

垣見裕司 垣見油化社長

INTERVIEW

34 あらゆる方策の検討が不可欠 インフラ間の親和性に着目

山内弘隆 武蔵野大学経営学部特任教授

エネルギーインフラの憧憬

8 メタネーション実証設備「化けるLABO」 大阪ガス(大阪・関西万博)

巻頭インタビュー

10 兵頭誠之 住友商事会長／経済同友会 2024年度エネルギー委員長

FOCUS NEWS HEADLINE

12 エネルギー代補助なくならず 国が価格責任を持つ構図に!?

洋上風力業界内で情報錯そう 三菱商事は撤退か継続か

KKの県民投票条例を否決 花角知事はいつ決断?

次世代地熱で官民協議会 30年代の早期実装を目指す

7年ぶりにトップ交代 九州電力社長に西山氏

フラッシュニュース

18 ステークホルダー対応重視へ 東ガス社長が会見で言及／都の太陽光義務化が開始 都議から財産権侵害の声も
相次ぐ都市ガス値上げ 経費膨らみ苦渋の決断／中長期の需給バランス悪化へ 火力休廃止の増加阻止がカギ



ENERGY FORUM REPORT

36 さまざまな矛盾はらむETS 勝者・敗者の分かれ目はルール次第

38 発足10年の節目を迎えた広域機関 高まる存在感と待ち受ける試練

覆面ホンネ座談会

40 5次総特の策定延期「檻の中」でもがく東電 再建には業界再編が不可避

論説室の窓

46 浮上したアラスカ産LNG投資 交渉“カード”とする前に 神子田 章博|NHK

業界紙の目

48 燃料油補助金のデジャブ 物価高と少数与党で先見え 津金宏嘉|燃料油脂新聞社

原子力の世紀

64 トランプ米政権とイラン[®] 核開発の裏に潜む「闇市場」濃縮分野で暗躍した人物とは

記念特集

67

おかげさまで 本誌創刊70年

松永安左エ門翁生誕150周年、昭和100年、戦後80年

68

不偏不党の編集方針を堅持「国益と福祉の増進」のため報道

志賀正利 エネルギーフォーラム取締役社長／編集人兼発行人

70

激動の歴史をたどった電力政策 戦後80年の変遷を振り返る

山地憲治 地球環境産業技術研究機構(RITE)理事長

74

林 欣吾 電気事業連合会 会長 正面からエネ問題に向き合う 国民一人ひとりの理解を醸成

75

木藤俊一 石油連盟 会長 知見を基に公平・中立を維持 鋭い視点を合わせた誌面作成を

76

内田高史 日本ガス協会 会長 長期的視点での主張と問題提起 識見の高い編集姿勢を貫く

77

田中恵次 日本LPガス協会 会長 戦後から有益な情報提供に尽力 エネ・環境・経済の発展に貢献

78

山田耕司 全国LPガス協会 会長 総合専門誌として多角的に分析 今後も一層深い掘り下げに期待

79

森 洋 全国石油商業組合連合会 会長 国内外の情勢・動向発信に功績 さらに進化したオビニオン誌へ

技術革新の扉

92

ナトリウムイオン型バッテリー エレコム 脱リチウムで発火リスク低減 次世代電池の導入にも意欲

FORUM EYE

94

北海道電力 新経営ビジョンを策定 GX集積地のさらなる発展に貢献

96

LPガス問題を考える会 LPガス問題をテーマにシンポジウム 実質的な取り締まりの可否が焦点

98

エネルギーフォーラム賞・小説賞 贈呈式

REGULER

35

オビニオン | 小谷勝彦

107

多事争論 FIP・FIT制度の変更

44

イニシャルニュース

110

政界官界 | 伊澤史朗 双葉町長

50

脱炭素時代の経済評論 | 関口博之

112

今そこにある危機 太陽フレア

51

気象データ活用術 | 加藤芳樹・史葉

114

シン・メディア放談 青色吐息の石破政権

52

ワールドワイド

116

永田町便り | 福島伸享

56

業界スクランブル

117

リレーコラム | 松原文彦

60

事業者探訪 | ゆきぐに新電力

118

インフォメーション

62

ビジネスリーダー | 高橋優人

120

ブックス

66

エネルギーのそこが知りたい

122

編集後記

言行録

「(夏の電気・ガス代補助について、公明党との間で) 対応を考えた方がいいということで意見の一致をみた。(財源では) 予備費が使えるかどうかもある」

森山裕 (自民党幹事長)

自民・公明両党幹事長会談後の会見で(4月15日)